

平成 28 年社会生活基本調査
和歌山県の結果概要

= 生活行動に関する結果 =

— 調査の概要 —

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とし、昭和 51 年の第 1 回調査以来 5 年ごとに総務省統計局が実施しています。

平成 28 年社会生活基本調査は、全国の世帯から無作為に選定された調査区に居住する 10 歳以上の世帯員（本県では約 1,600 世帯、約 3,700 名）を対象に、平成 28 年 10 月 20 日現在で実施されました。

本資料は、総務省統計局が公表した調査結果から、和歌山県の結果をまとめたものです。

— 利用上の注意 —

- 1 統計表の数字は表章単位未満で四捨五入しており、総数に分類不能、不詳を含むため、総数と内訳を合計した数値とは必ずしも一致しない。
- 2 増減及び増減率、構成比等の比率は、表章単位の数字から算出している。
- 3 統計表中「0」、「0.0」は、集計した数値が表章単位に満たないものである。
- 4 統計表中「-」は、該当数字のない箇所である。

— 目次 —

1	学習・自己啓発・訓練	2
2	スポーツ	6
3	趣味・娯楽	11
4	ボランティア活動	16
5	旅行・行楽	21
6	全国との比較	24

— 主な用語 —

○行動者数

過去1年間に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数

○行動者率

10歳以上人口に占める行動者数の割合（％）

○平均行動日数

行動者について平均した過去1年間の行動日数（日）

○学習・自己啓発・訓練

個人の自由時間の中で行う学習、自己啓発や訓練をいい、社会人の職場研修や、児童・学生が学業（授業・予習・復習）として行うものは除き、クラブ活動や部活動を含む。

○スポーツ

余暇活動として行うスポーツをいい、学生が体育の授業で行うものや職業スポーツ選手が仕事として行うものは除き、クラブ活動や部活動を含む。

○趣味・娯楽

仕事、学業、家事などのように業務的に行う活動ではなく、個人の自由時間の中で行うものをいう。

○ボランティア活動

報酬を目的としないで、自分の労力、時間等を提供して地域社会や個人、団体の福祉のために行っている活動をいう。

○旅行・行楽

旅行は、1泊2日以上にわたって行うすべての旅行をいい、日帰りの旅行は含まない。行楽とは、日常生活圏を離れ、半日以上かけて行う日帰りをいい、夜行日帰りも含む。

1 学習・自己啓発・訓練

行動者率は33.0%となり、「25～34歳」で5年前より7.3ポイント上昇

行動者数は28万1千人で、行動者率は33.0%となり、平成23年より3.3ポイント上昇した。

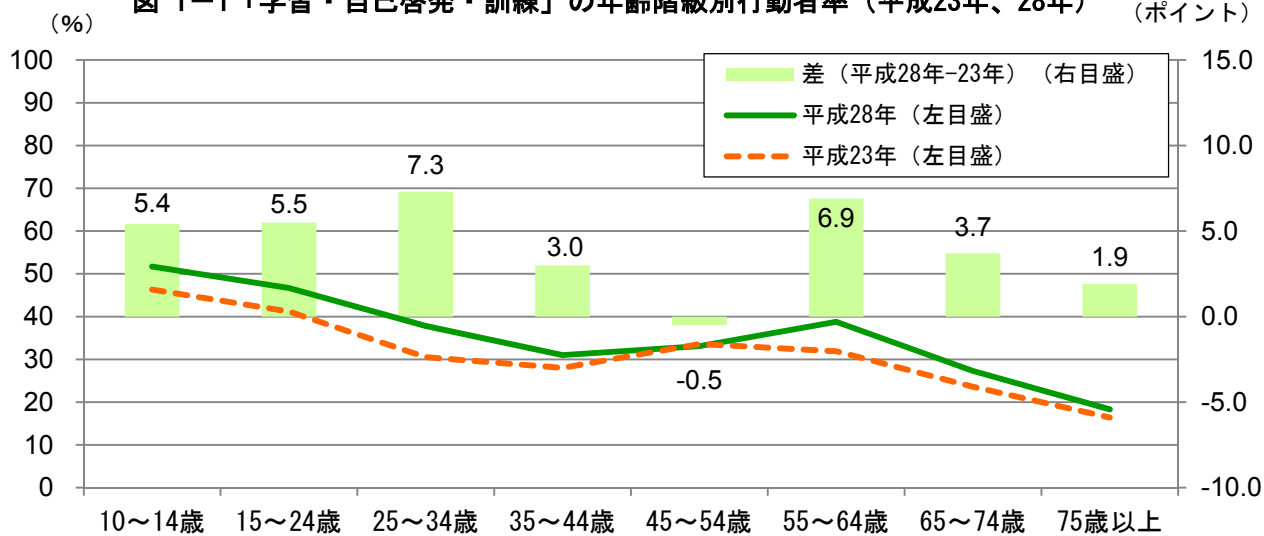
男女別にみると、行動者率は男性が32.0%、女性が34.0%で、女性が男性より2.0ポイント高い。

年齢階級別にみると、45～54歳以外で上昇し、25～34歳で7.3ポイント上昇している。

表1-1 「学習・自己啓発・訓練」の行動状況

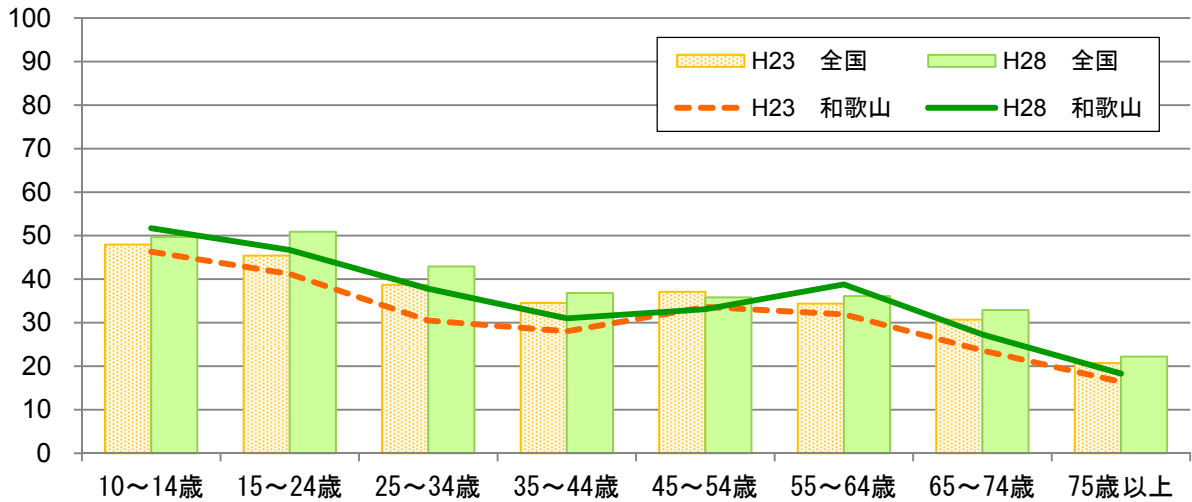
	行動者数（千人）			行動者率（%）		
	H28	H23	増減	H28	H23	増減
総数	281	264	17	33.0	29.7	3.3
男	128	113	15	32.0	27.0	5.0
女	153	151	2	34.0	32.1	1.9

図1-1 「学習・自己啓発・訓練」の年齢階級別行動者率（平成23年、28年）



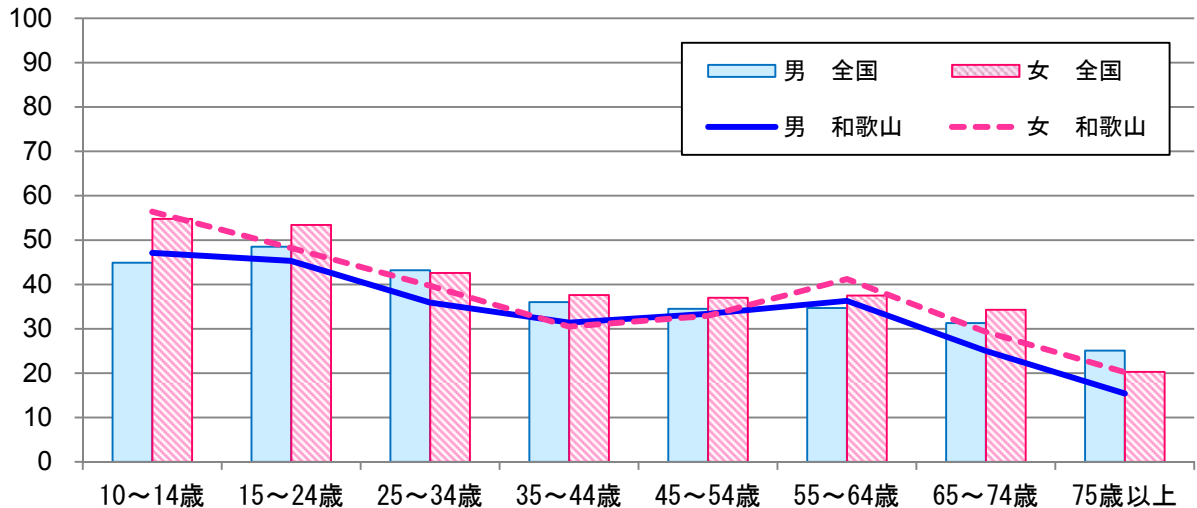
全国と比較すると、男性の10～14歳及び55～64歳の年齢階級を除き、行動者率は低い。また、平成23年と比べて、45～54歳を除く年齢階級で、平成28年の方が高いのは、全国と同じ傾向である。

(%) 図 1-2 「学習・自己啓発・訓練」の年齢階級別行動者率（平成23年、28年）



男女別にみると、35～54歳を除く年齢階級で男性より女性の方が行動者率が高い。全国と比べると、10～14歳と55～64歳では、男女とも全国よりも行動者率が高いが、その他の年齢階級では全国よりも低い。

(%) 図 1-3 「学習・自己啓発・訓練」の男女、年齢階級別行動者率（平成28年）



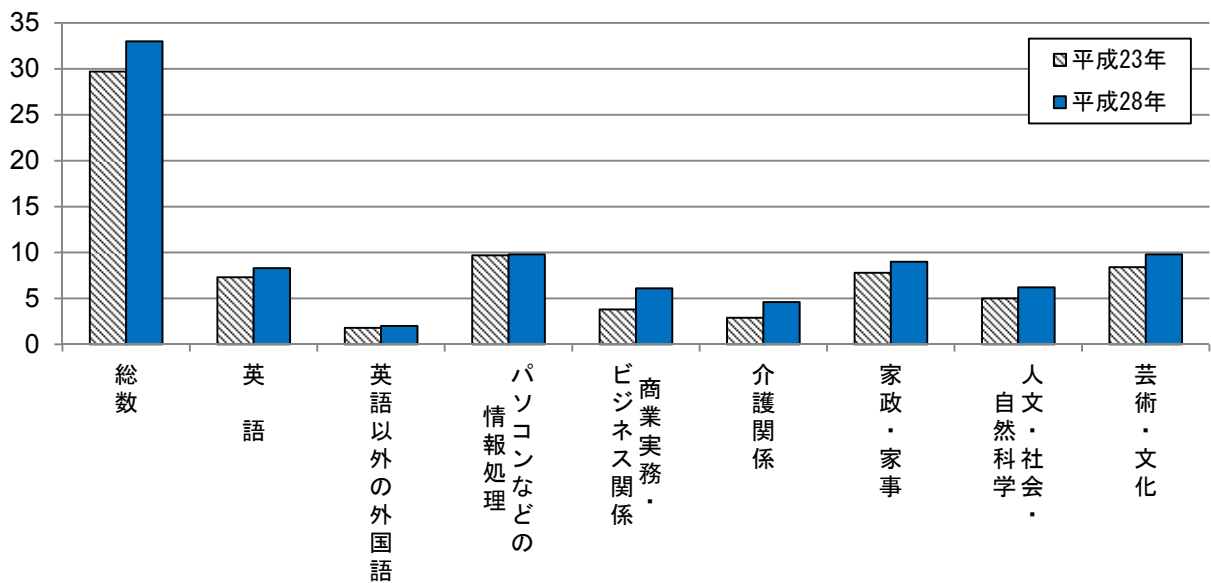
行動の種類は「パソコンなどの情報処理」及び「芸術・文化」が高い

行動者率を種類別にみると、依然として「パソコンなどの情報処理」及び「芸術・文化」の行動者率が高く、ともに9.8%で1位となっている。

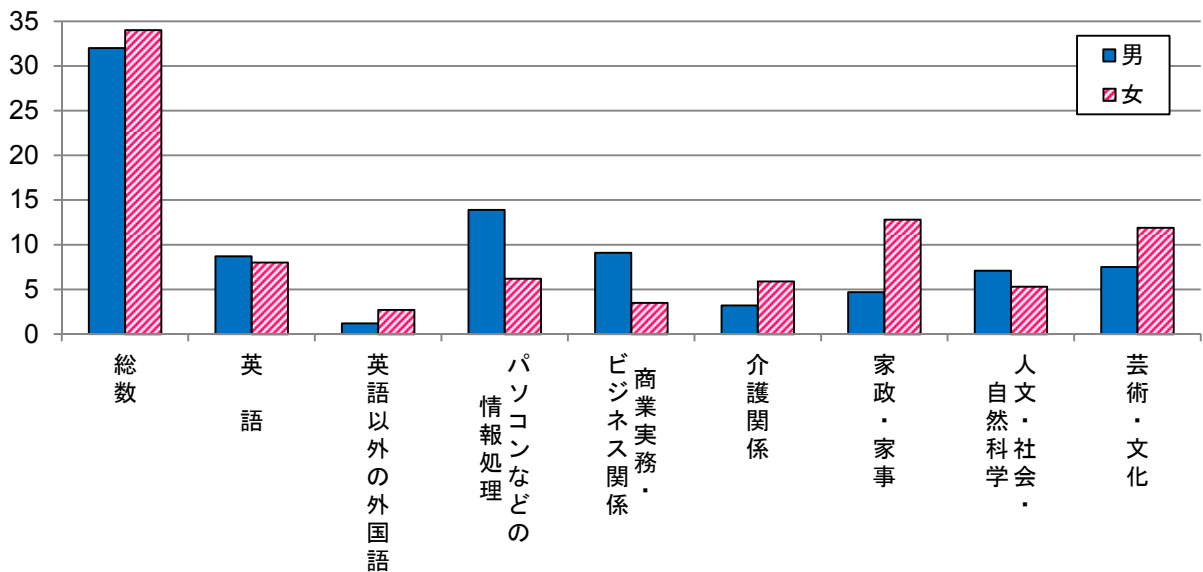
平成23年と比べると、すべての種類で行動者率が上昇し、特に「商業実務・ビジネス関係」が2.3ポイント、「介護関係」が1.7ポイント上昇し、介護関係は4.6%で全国1位となった。

男女別にみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が13.9%と最も高く、次いで「商業実務・ビジネス関係」が9.1%、女性は「家政・家事」が12.8%、次いで「芸術・文化」が11.9%となっている。平成23年と比べると、男性は5.0ポイント上昇（女性は1.9ポイント上昇）しており、「商業実務・ビジネス関係」3.8ポイント、「パソコンなどの情報処理」3.4ポイント、「家政・家事」2.1ポイントの上昇が、男性の総数の上昇に寄与している。

(%) 図 1-4 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率（平成23年、28年）

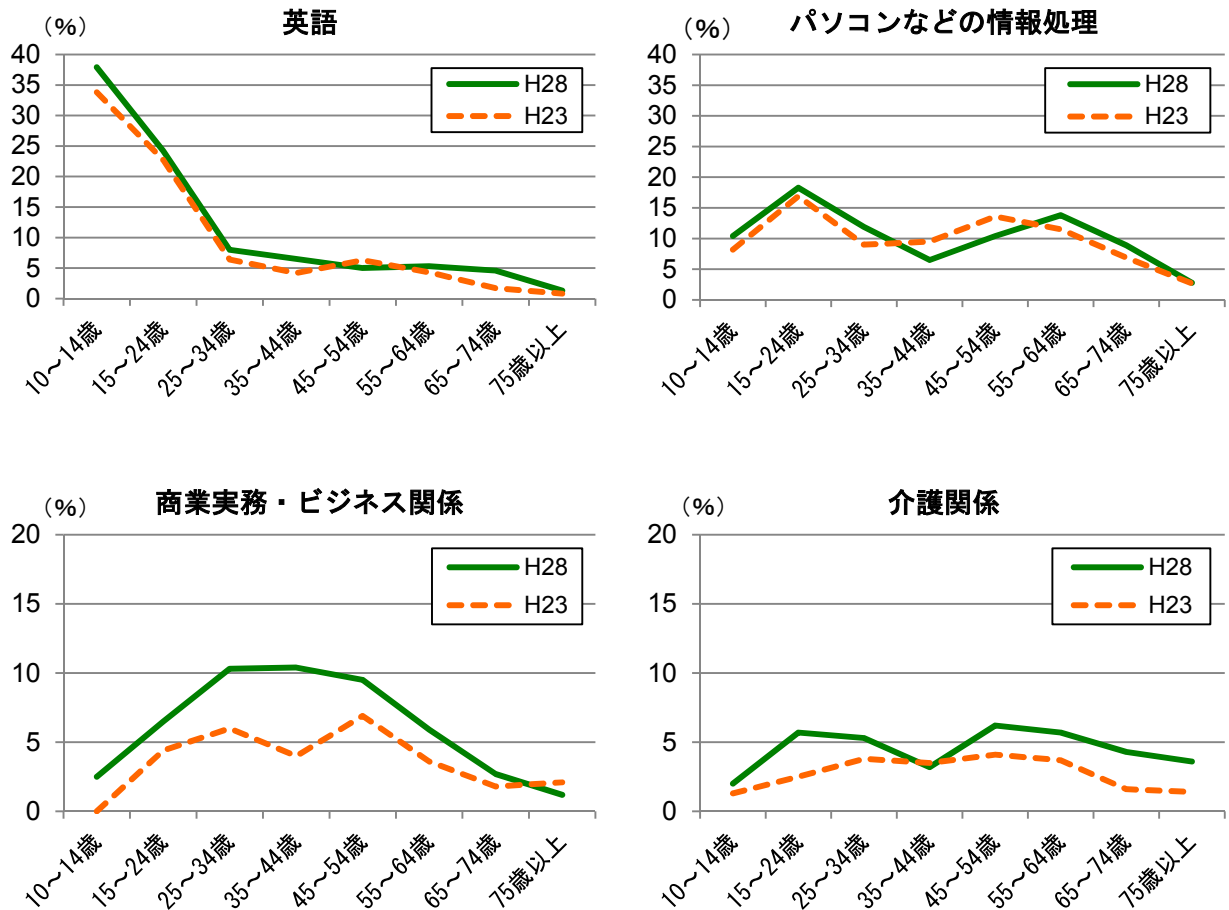


(%) 図 1-5 「学習・自己啓発・訓練」の男女、種類別行動者率（平成28年）



主な種類を年齢階級別に平成23年と比べると、「英語」は35歳未満で上昇しており、10～14歳で特に上昇している。「パソコンなどの情報処理」は34歳以下及び55歳以上で上昇しており、「介護関係」も同様の動きがある。「商業実務・ビジネス関係」は、他の種類で行動者率が低い35～44歳で大きく上昇している。

図1-6「学習・自己啓発・訓練」の主な種類、年齢階級別行動者率（平成23年、28年）



2 スポーツ

行動者率は63.6%となり、すべての年齢階級で上昇

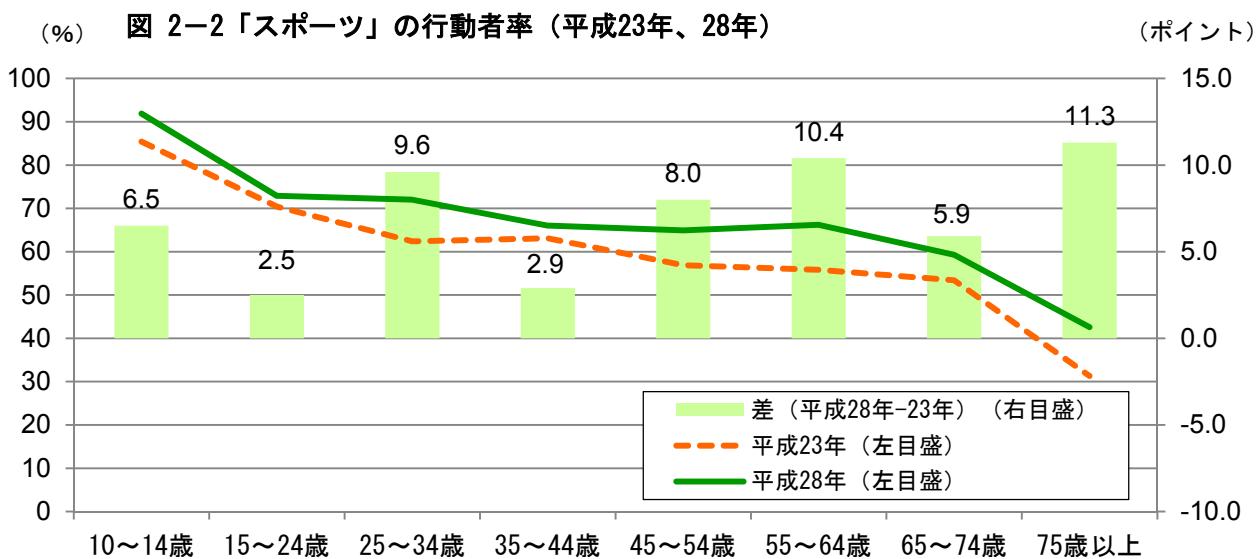
行動者数は54万2千人で、行動者率は63.6%となり、平成23年より6.7ポイント上昇した。

男女別にみると、行動者率は男性が69.1%、女性が58.7%で、男性が女性より10.4ポイント高くなっており、平成23年より男女差は拡大した。

年齢階級別にみると、すべての年齢階級で上昇しており、特に75歳以上では11.3ポイント上昇した。

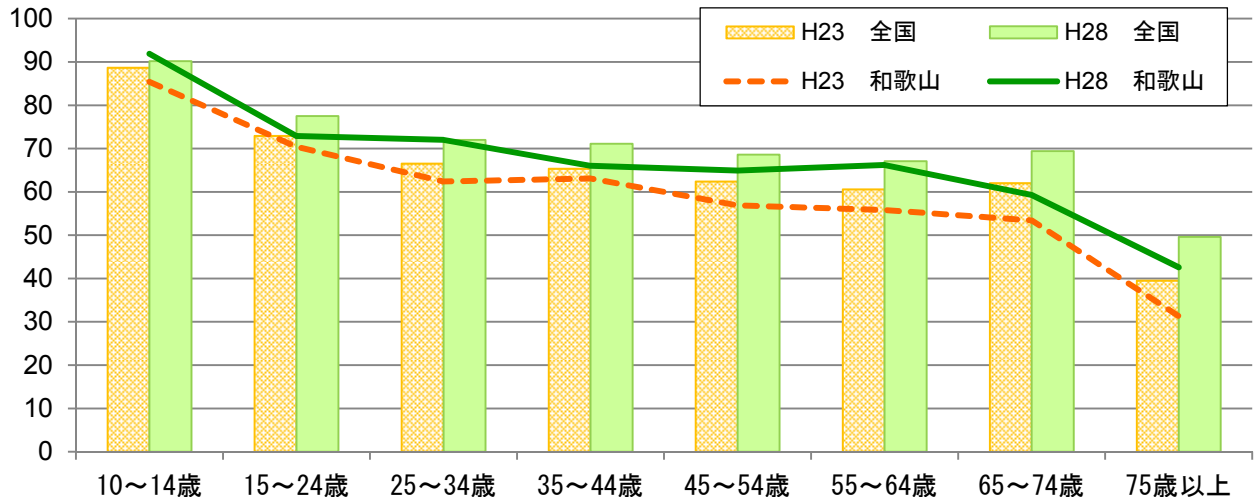
表2-1「スポーツ」の行動状況

	行動者数（千人）			行動者率（%）		
	H28	H23	増減	H28	H23	増減
総数	542	506	36	63.6	56.9	6.7
男	277	260	17	69.1	62.1	7.0
女	264	246	18	58.7	52.3	6.4



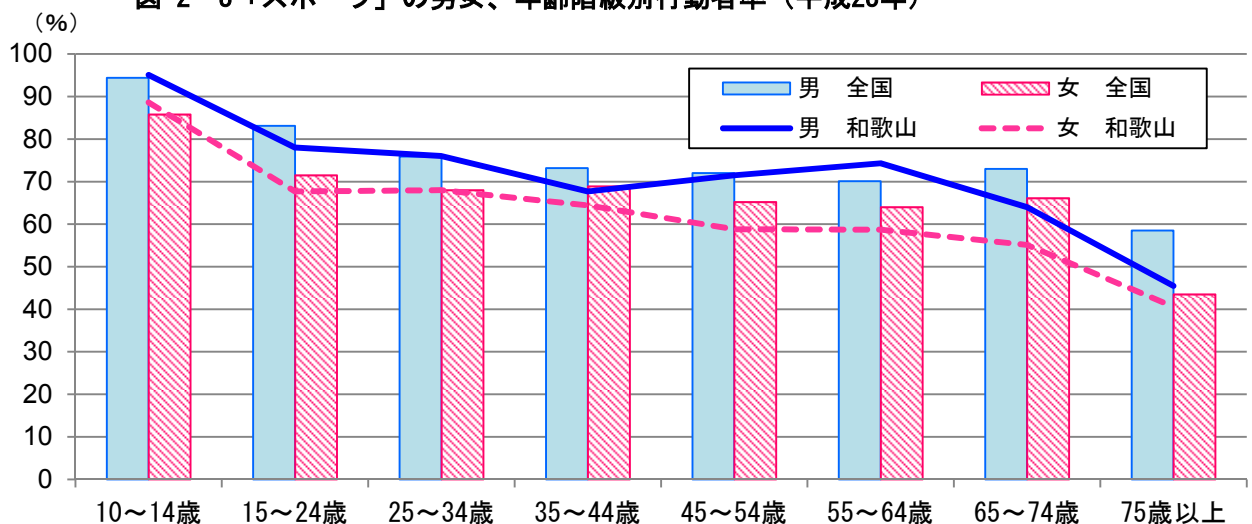
全国と比べると、平成28年の行動者率は10～14歳を除く年齢階級で和歌山の方が低い。
平成23年と比べると、和歌山も全国もすべての年齢階級で上昇し、特に55歳以上で上昇幅が大きくなっている。

(%) 図 2-2 「スポーツ」の行動者率（平成23年、28年）



男女別にみると、行動者率はすべての年齢階級で、女性よりも男性の方が高く、全国と同じ傾向である。全国と比べると、10～14歳の男女及び55～64歳の男性で和歌山の方が行動者率が高いが、そのほかの年齢階級、特に65歳以上で全国と和歌山との行動者率の差が大きく、男性は75歳以上で13.0ポイント、女性は65～74歳で11.0ポイントの差がある。

図 2-3 「スポーツ」の男女、年齢階級別行動者率（平成23年）



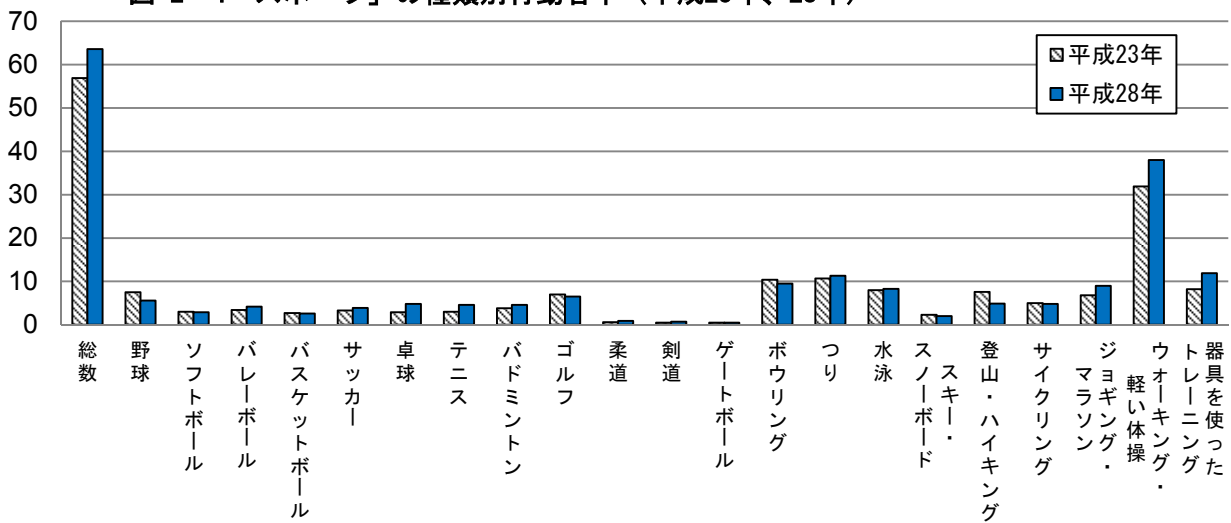
「ウォーキング・軽い体操」が1位、「器具を使ったトレーニング」が2位

行動者率を種類別にみると、「ウォーキング・軽い体操」が38.0%と最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」が11.9%となっている。

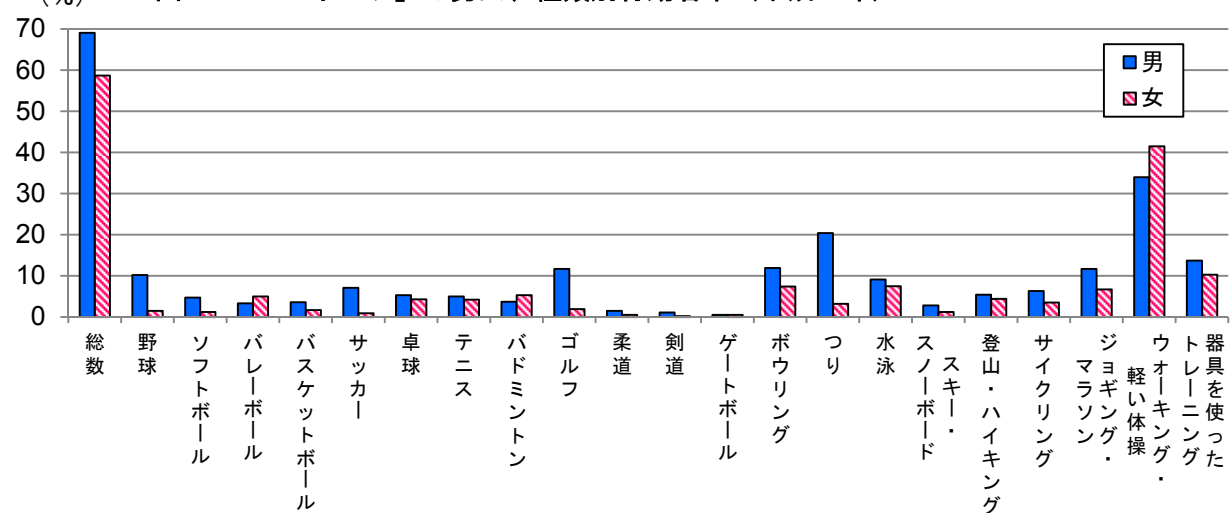
平成23年と比べると、「ウォーキング・軽い体操」が6.1ポイント、「器具を使ったトレーニング」が3.7ポイント上昇したが、平成23年に上昇した「登山・ハイキング」は2.7ポイント減少した。

男女別にみると、男女とも「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで男性が「つり」、女性が「器具を使ったトレーニング」となっている。

(%) 図 2-4 「スポーツ」の種類別行動者率（平成23年、28年）



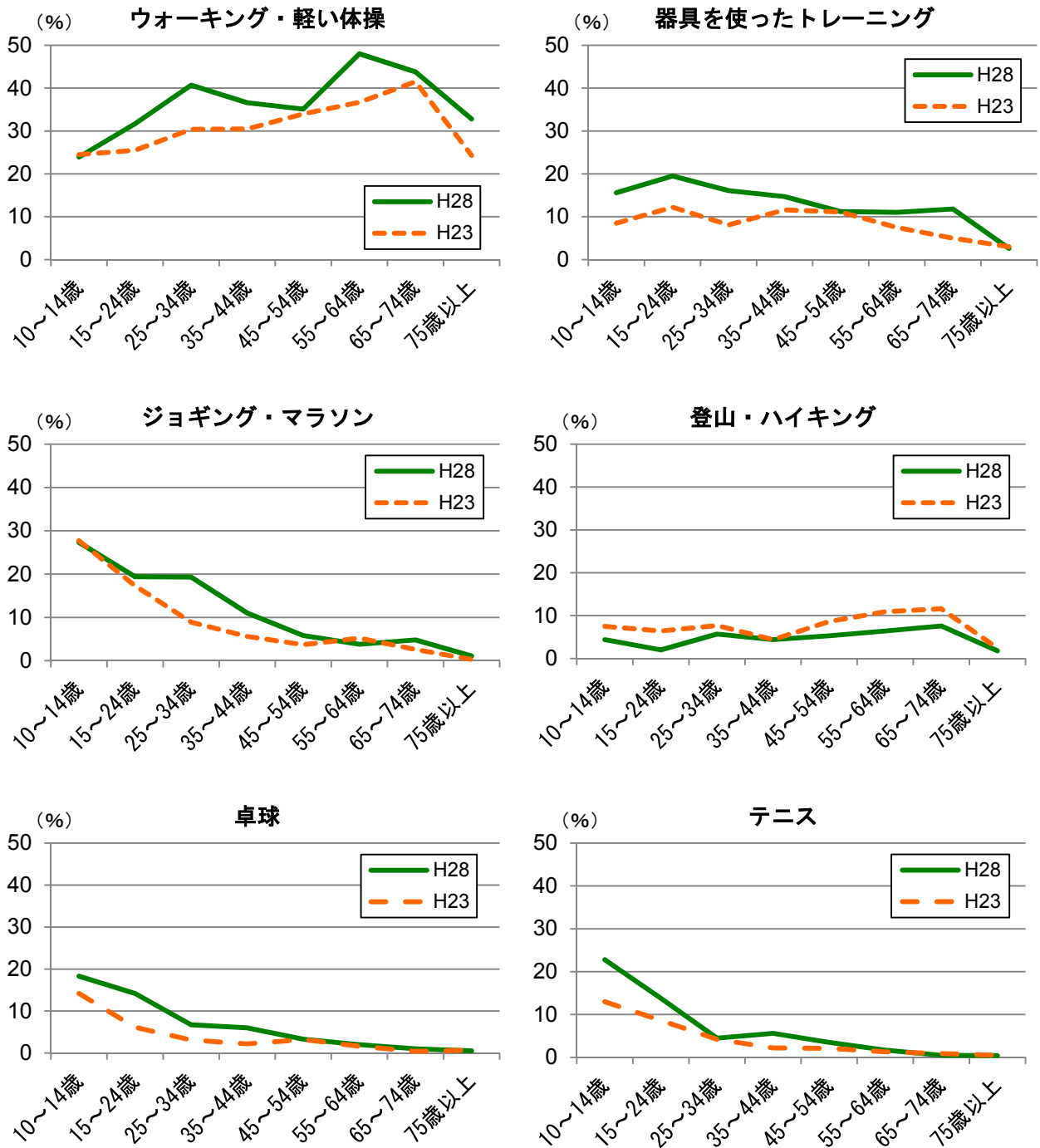
(%) 図 2-5 「スポーツ」の男女、種類別行動者率（平成28年）



主な種類を年齢階級別に平成23年と比べると、行動者率の高い「ウォーキング・軽い体操」及び「器具を使ったトレーニング」は、幅広い年齢階級で上昇している。一方、減少していた「登山・ハイキング」はすべての年齢階級で行動者率が減少している。

「卓球」及び「テニス」は10～44歳までの若い世代で行動者率が上昇している。

図2-6 「スポーツ」の主な種類、年齢階級別行動者率（平成23年、28年）



年齢階級別に上位の行動をみると、25歳以上では「ウォーキング・軽い体操」が最も高くなっている。全国と比べると、「釣り」の順位が高く、平均行動日数も27.1日で全国1位となっている。平成23年に行動者率の上位に入っていた「登山・ハイキング」は、和歌山では行動者率が低下し、順位が下がったが、全国平均では持続して高い傾向にある。

表2-2 「スポーツ」の年齢階級別、種類別行動者率の順位（平成28年）

※「その他」を除く

	1位	2位	3位
10～14歳	水泳	ジョギング・マラソン	ウォーキング・軽い体操
	40.9%	27.3%	23.9%
15～24歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	ジョギング・マラソン
	31.7%	19.5%	19.4%
25～34歳	ウォーキング・軽い体操	ボウリング	ジョギング・マラソン
	40.7%	20.2%	19.3%
35～44歳	ウォーキング・軽い体操	釣り	器具を使ったトレーニング
	36.6%	14.8%	14.7%
45～54歳	ウォーキング・軽い体操	ゴルフ	器具を使ったトレーニング
	35.1%	11.4%	11.2%
55～64歳	ウォーキング・軽い体操	釣り	器具を使ったトレーニング
	48.0%	13.3%	11.0%
65～74歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	釣り
	43.8%	11.8%	9.4%
75歳以上	ウォーキング・軽い体操	釣り	器具を使ったトレーニング
	32.8%	6.1%	2.6%

（参考）全国の年齢階級別、種類別行動者率の順位

	1位	2位	3位
10～14歳	水泳	ジョギング・マラソン	ボウリング
15～24歳	ウォーキング・軽い体操	ボウリング	ジョギング・マラソン
25～34歳	ウォーキング・軽い体操	ボウリング	ジョギング・マラソン
35～44歳	ウォーキング・軽い体操	水泳	ボウリング
45～54歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	ボウリング
55～64歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	登山・ハイキング
65～74歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	登山・ハイキング
75歳以上	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	ゴルフ

3 趣味・娯楽

行動者率は83.4%、「55～64歳」で最も行動者率が上昇

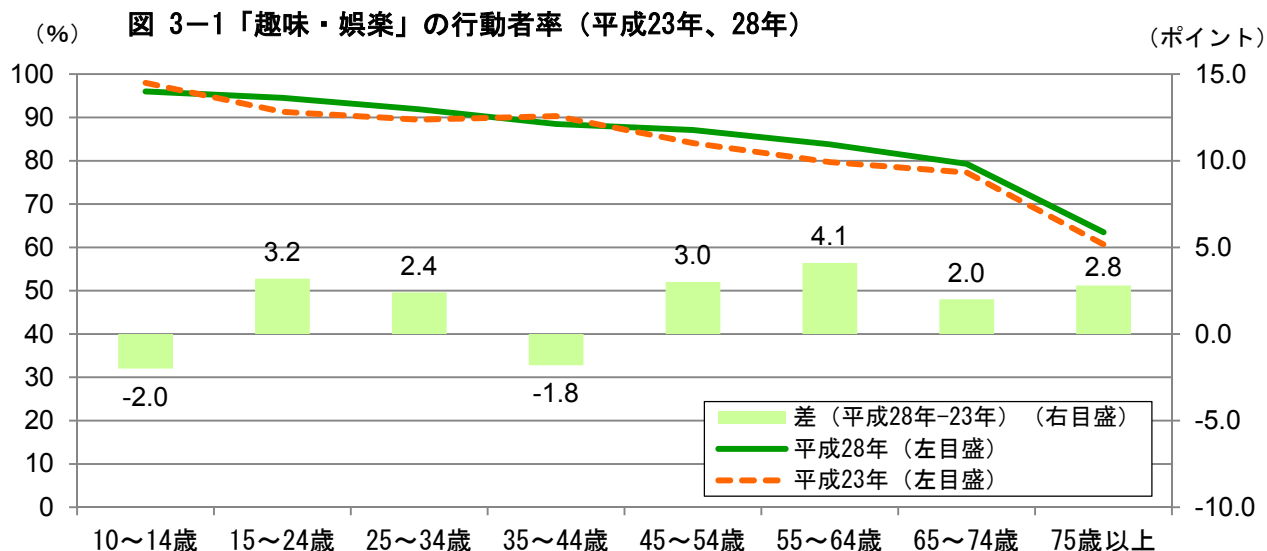
行動者数は71万1千人で、行動者率は83.4%となり、平成23年より1.4ポイント上昇した。

男女別にみると、行動者率は男性が83.7%、女性が83.2%で、男性は1.7ポイント、女性は1.2ポイント上昇した。

年齢階級別にみると、行動者率は10～14歳が最も高く、年齢が上がるにつれ減少傾向にある。平成23年と比べると、10～14歳及び35～44歳以外で上昇しており、特に55～64歳で4.1ポイント上昇した。

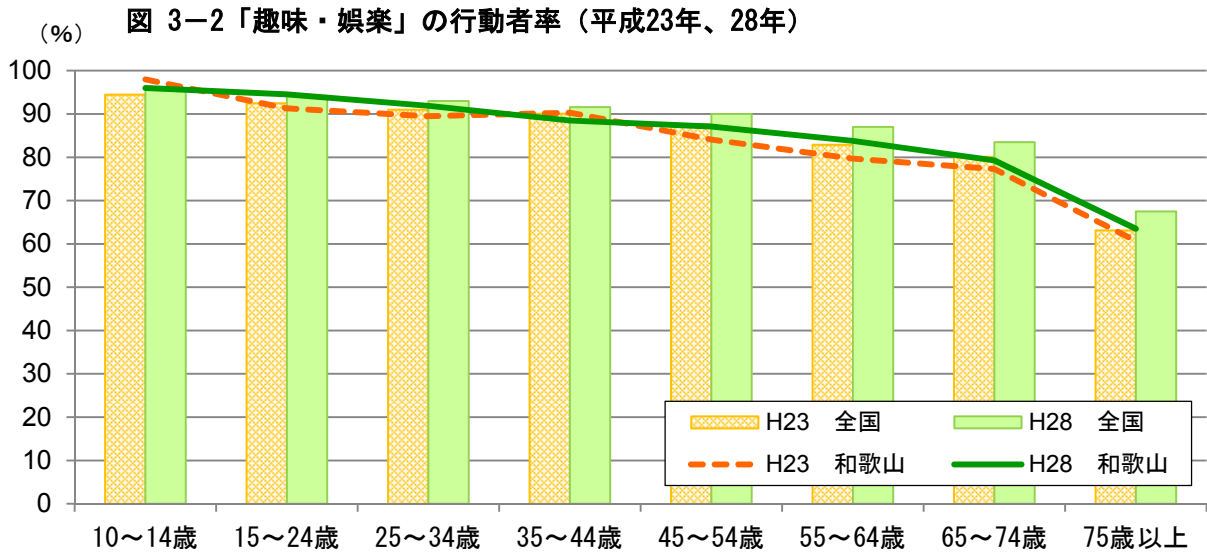
表3-1 「趣味・娯楽」の行動状況

	行動者数(千人)			行動者率(%)		
	H28	H23	増減	H28	H23	増減
総数	711	729	-18	83.4	82.0	1.4
男	336	343	-7	83.7	82.0	1.7
女	375	386	-11	83.2	82.0	1.2

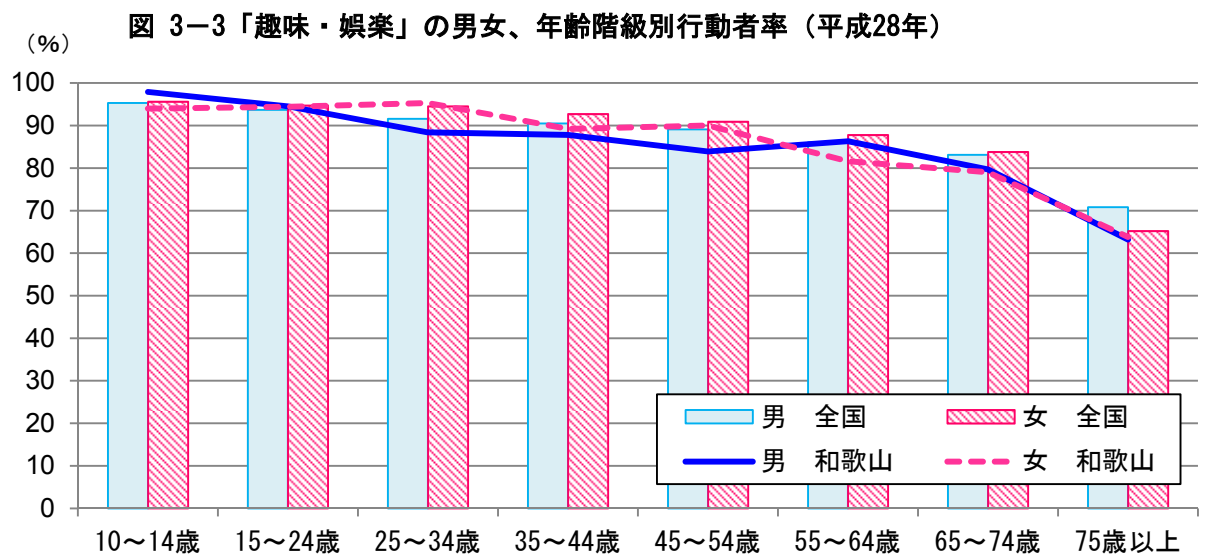


全国と比べると、25歳以上の年齢階級で、全国よりも行動者率が低く、年齢が上がるにつれ全国との差が大きくなっている。

全国は、すべての年齢階級で平成23年より行動者率が上昇し、特に55歳以上での上昇幅が大きくなっているが、和歌山も上昇しているものの、上昇幅は小さい。



男女別にみると、行動者率は25～54歳の年齢階級で、男性より女性の方が高い。全国と比べると、55歳以上での全国との行動者率の差が大きく、75歳以上の男性で7.6ポイント、55～64歳の女性で6.2ポイントの差がある。



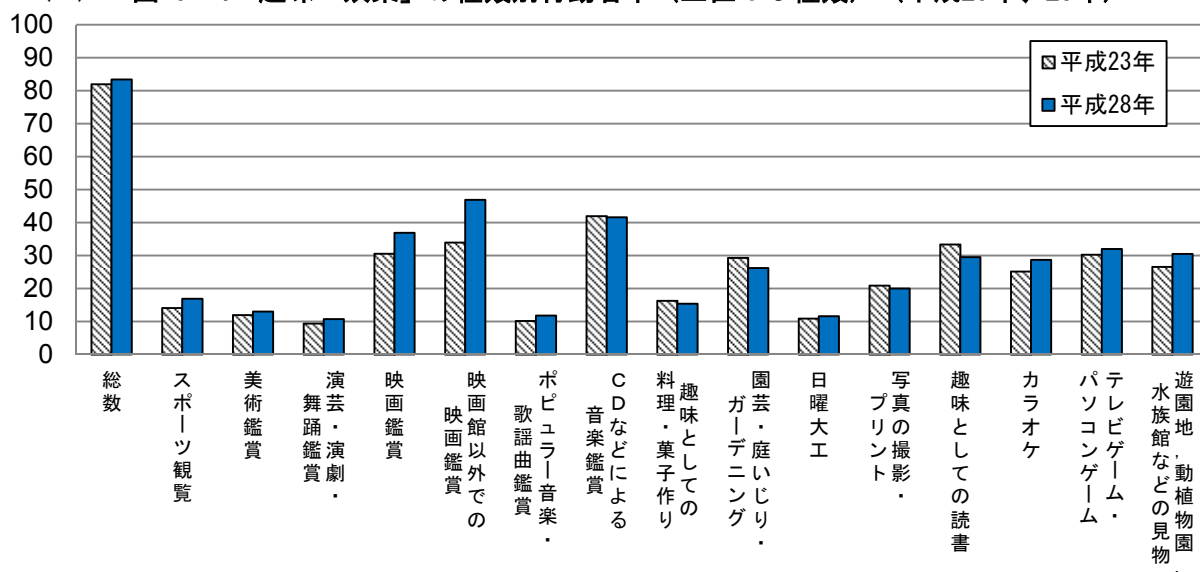
男女とも「映画館以外での映画鑑賞」が1位

行動者率を種類別にみると、「映画館以外での映画鑑賞」が46.9%と最も高く、次いで「CDなどによる音楽鑑賞」が41.6%となっている。

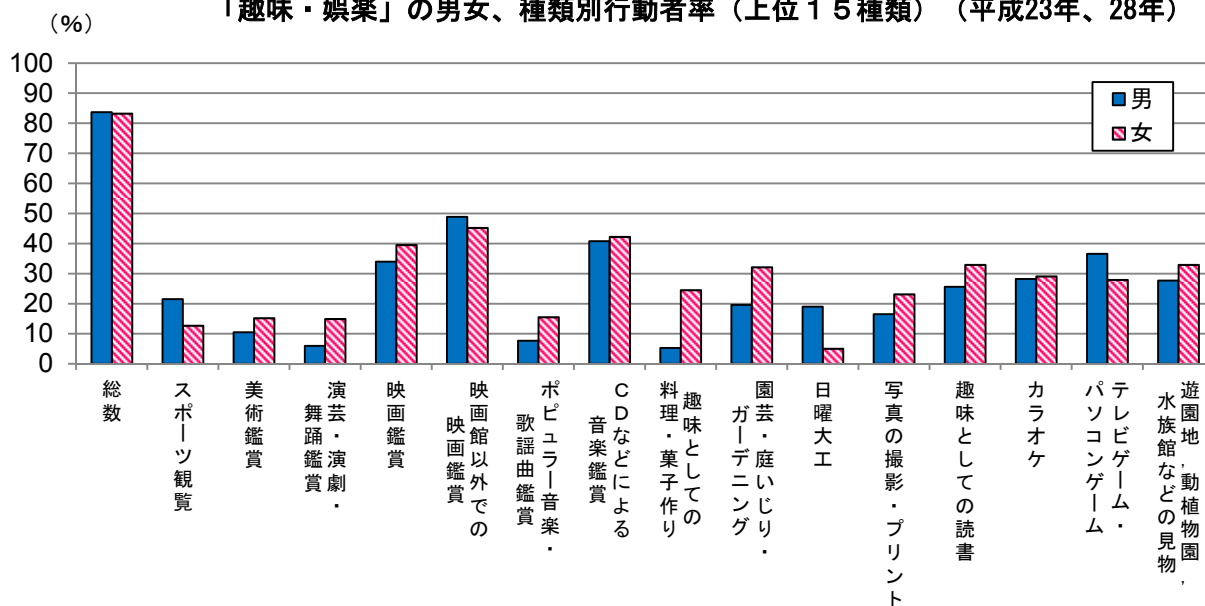
平成23年と比べると、「映画館以外での映画鑑賞」は12.9ポイント上昇し、最も上昇幅が大きく、次いで「映画鑑賞」が6.3ポイント上昇した。一方、「趣味としての読書」は平成23年より3.9ポイント減少し、全国で最下位の行動者率となった。

男女別にみると、男女とも「映画館以外での映画鑑賞」が最も高くなっており、男性は48.9%、女性は45.2%となっている。次いで、男性は「CDなどによる音楽鑑賞」が40.8%、「テレビゲーム・パソコンゲーム」が36.6%、女性は「CDなどによる音楽鑑賞」が42.2%、「映画鑑賞」が39.5%となっている。

(%) 図 3-4 「趣味・娯楽」の種類別行動者率（上位15種類）（平成23年、28年）



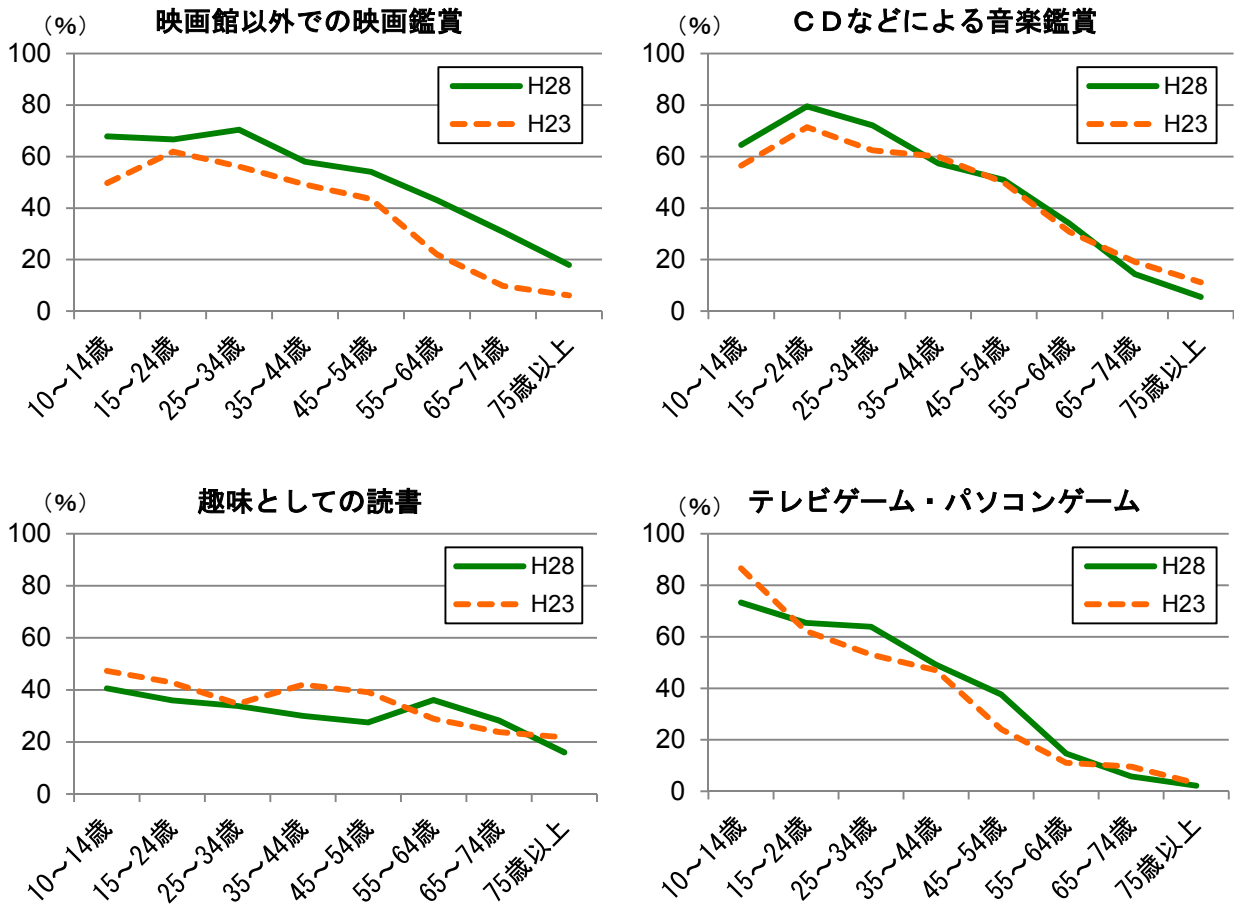
「趣味・娯楽」の男女、種類別行動者率（上位15種類）（平成23年、28年）



主な種類を年齢階級別に平成23年と比べると、「映画館以外での映画鑑賞」はすべての年齢階級で行動者率が上昇し、「CDなどによる音楽鑑賞」は34歳以下で上昇した。

一方、「趣味としての読書」は35～54歳の年齢階級で特に行動者率が低下し、全国最下位の29.5%（H23は33.4%で32位）となった。「テレビゲーム・パソコンゲーム」は、依然として若年者層で行動者率が高いが、10～14歳では13.3ポイント減少した。

図3-6「趣味・娯楽」の主な種類、年齢階級別行動者率（平成23年、28年）



年齢階級別に上位の行動をみると、行動者率が上昇した「映画館以外での映画鑑賞」は、すべての年齢階級で上位3位以内となった。10～54歳では「テレビゲーム・パソコンゲーム」、「CDなどによる音楽鑑賞」の行動者率が高く、55歳以上では「園芸・庭いじり・ガーデニング」、「趣味としての読書」が高い。

表3-2「趣味・娯楽」の年齢階級別、種類別行動者率の順位（平成28年）

※「その他」を除く

	1位	2位	3位
10～14歳	テレビゲーム・パソコンゲーム	映画館以外での映画鑑賞	CDなどによる音楽鑑賞
	73.3%	67.8%	64.5%
15～24歳	CDなどによる音楽鑑賞	映画館での映画鑑賞	映画館以外での映画鑑賞
	79.5%	69.3%	66.6%
25～34歳	CDなどによる音楽鑑賞	映画館以外での映画鑑賞	テレビゲーム・パソコンゲーム
	72.1%	70.4%	63.9%
35～44歳	映画館以外での映画鑑賞	CDなどによる音楽鑑賞	テレビゲーム・パソコンゲーム
	58.0%	57.4%	49.2%
45～54歳	映画館以外での映画鑑賞	CDなどによる音楽鑑賞	映画館での映画鑑賞
	54.1%	50.9%	39.0%
55～64歳	映画館以外での映画鑑賞	映画館での映画鑑賞	園芸・庭いじり・ガーデニング
	43.1%	39.5%	36.1%
65～74歳	園芸・庭いじり・ガーデニング	映画館以外での映画鑑賞	趣味としての読書
	41.8%	30.8%	28.2%
75歳以上	園芸・庭いじり・ガーデニング	映画館以外での映画鑑賞	趣味としての読書
	29.4%	17.9%	16.0%

（参考）全国の年齢階級別、種類別行動者率の順位

	1位	2位	3位
10～14歳	テレビゲーム・パソコンゲーム	映画館での映画鑑賞	映画館以外での映画鑑賞
15～24歳	CDなどによる音楽鑑賞	映画館での映画鑑賞	映画館以外での映画鑑賞
25～34歳	CDなどによる音楽鑑賞	映画館以外での映画鑑賞	テレビゲーム・パソコンゲーム
35～44歳	CDなどによる音楽鑑賞	映画館以外での映画鑑賞	テレビゲーム・パソコンゲーム
45～54歳	映画館以外での映画鑑賞	CDなどによる音楽鑑賞	趣味としての読書
55～64歳	映画館以外での映画鑑賞	趣味としての読書	CDなどによる音楽鑑賞
65～74歳	園芸・庭いじり・ガーデニング	趣味としての読書	映画館以外での映画鑑賞
75歳以上	園芸・庭いじり・ガーデニング	趣味としての読書	映画館以外での映画鑑賞

4 ボランティア活動

行動者率は24.2%で、54歳以下で減少、55歳以上で上昇。

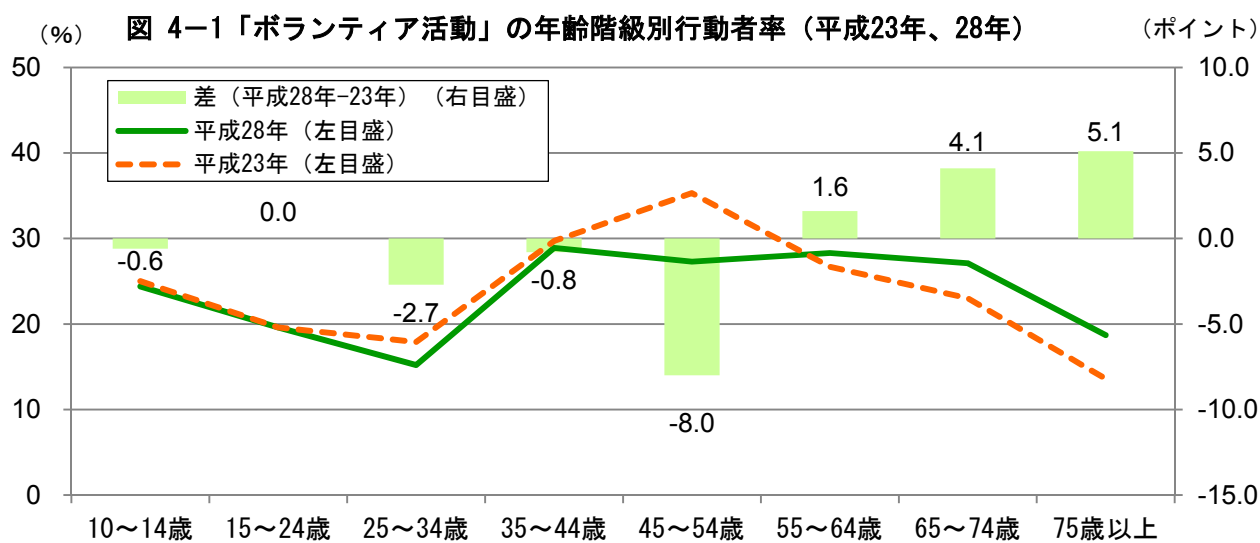
行動者数は20万6千人で、行動者率は24.2%となり、平成23年と比べると同水準で推移している。

男女別にみると、男性は1.0ポイント減少した一方、女性は0.9ポイント上昇した。

年齢階級別にみると、54歳以下の年齢階級で減少し、特に45～54歳で8.0ポイント減少したが、55歳以上では、年齢が上がるにつれて行動者率が上昇している。

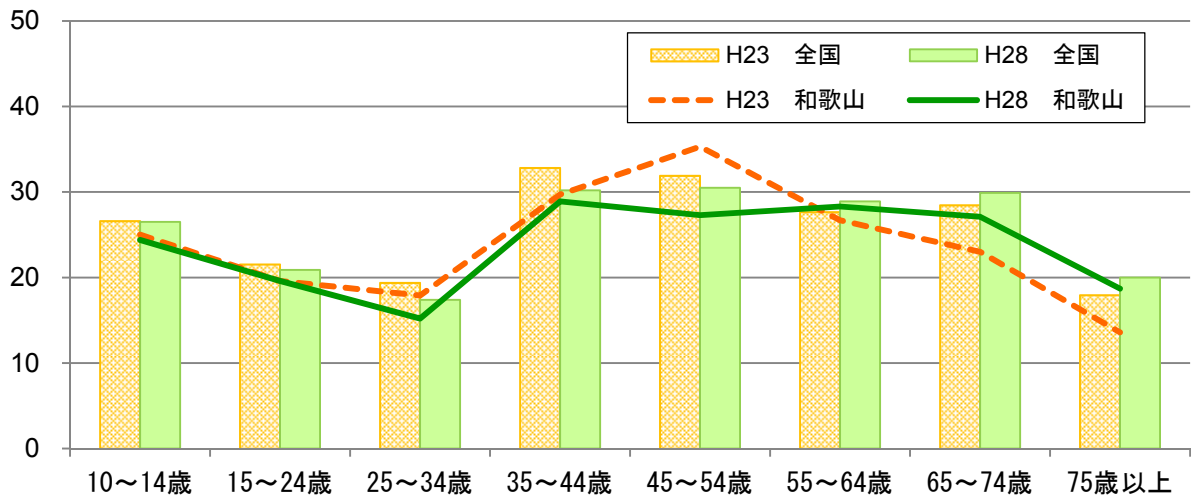
表4-1「ボランティア活動」の行動状況

	行動者数(千人)			行動者率(%)		
	H28	H23	増減	H28	H23	増減
総数	206	215	-9	24.2	24.2	0.0
男	96	104	-8	24.0	25.0	-1.0
女	110	111	-1	24.4	23.5	0.9



全国と比べて、54歳以下で行動者率が減少し、55歳以上で上昇するのは全国でも同じ傾向となっている。

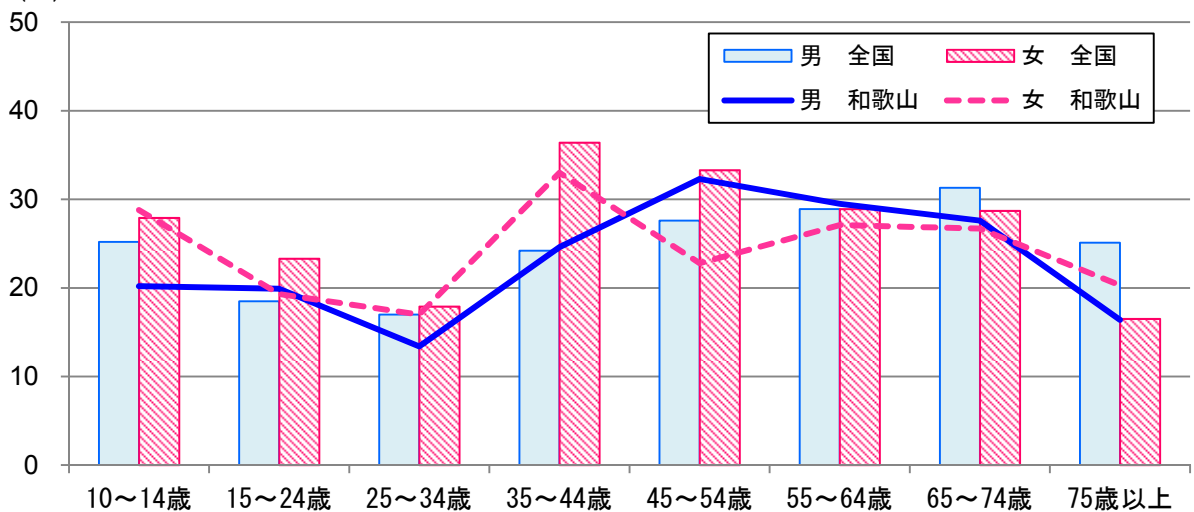
(%) 図 4-2 「ボランティア活動」の年齢階級別行動者率（平成23年、28年）



男女別にみると、男女ではピークの年齢階級が異なっており、男性は45~54歳で最も行動者率が高く、女性は35~44歳が最も高くなっている。全国では、男女のピークの年齢階級の差がより大きく、男性が65~74歳、女性は35~44歳が最も高くなっている。

また、75歳以上を除き、44歳以下の年齢階級では女性の方が行動者率が高く、45歳以上では男性の方が高くなっている。

(%) 図 4-3 「ボランティア活動」の男女、年齢階級別行動者率（平成28年）



「まちづくりのための活動」が1位、「災害に関係した活動」は3.9ポイント減少

行動者率を種類別にみると、「まちづくりのための活動」が11.1%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が6.6%となっている。

平成23年と比べると、「災害に関係した活動」が3.9ポイント減少したが、「まちづくりのための活動」及び「障害者を対象として活動」がそれぞれ上昇しており、和歌山で開催された全国障害者スポーツ大会（紀の国わかやま大会）の影響が見られる。

男女別にみると、男女とも「まちづくりのための活動」が最も高く、男性は12.9%、女性は9.6%となっている。次いで、男性は「安全な生活のための活動」が5.1%、女性は「子供を対象とした活動」が8.3%となっている。

図 4-4 「ボランティア活動」の種類別行動者率（平成23年、28年） (%)

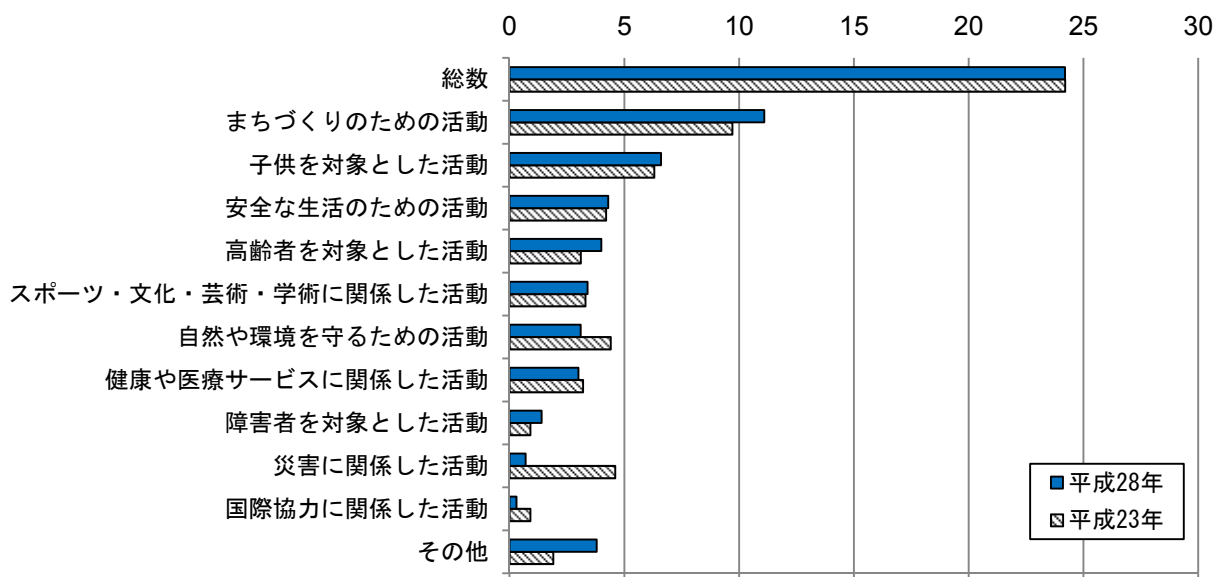
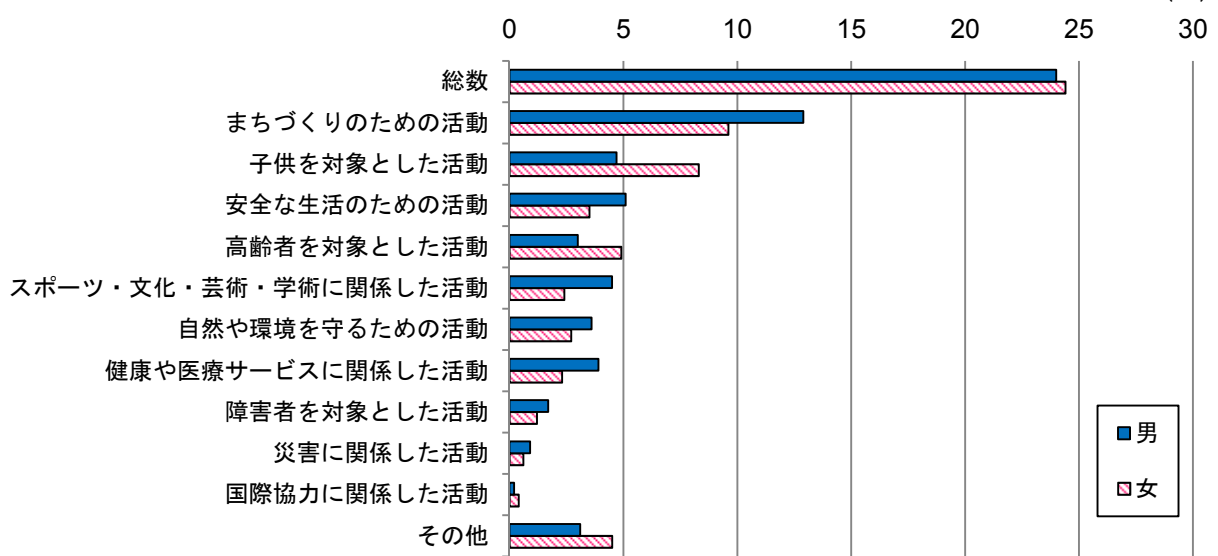


図 4-5 「ボランティア活動」の男女、種類別行動者率（平成28年） (%)

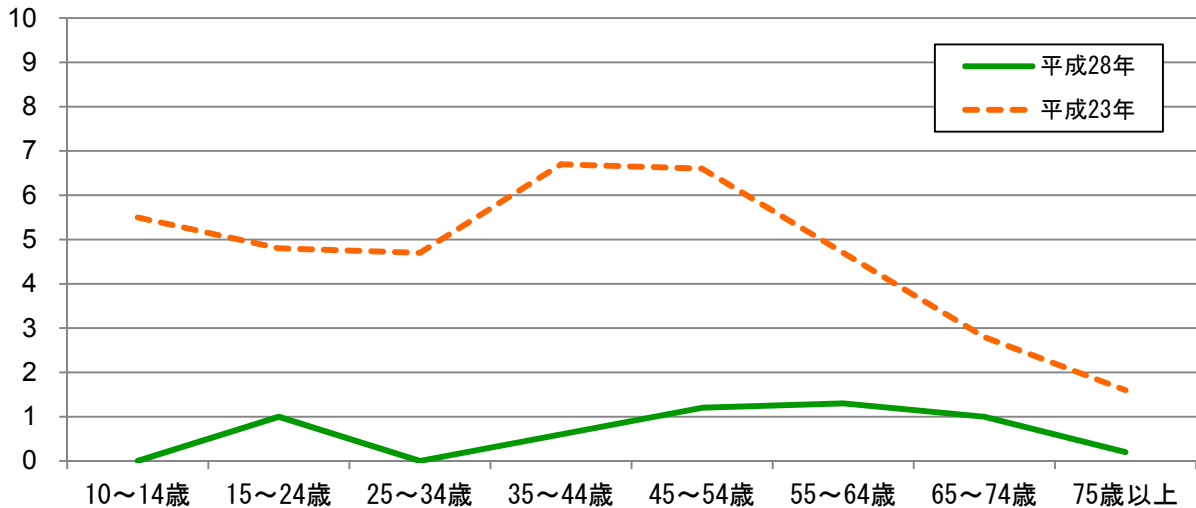


「災害に関係した活動」はすべての年齢階級で減少し、平成18年と同程度まで低下

「災害に関係した活動」の行動者率は、平成23年の4.6%から0.7%に減少し、順位も全国7位から45位に順位を落とした。

「災害に関係した活動」の行動者率の減少は、全国でも同様の傾向があり、全国平均の行動者率も3.8%から1.5%に減少している。

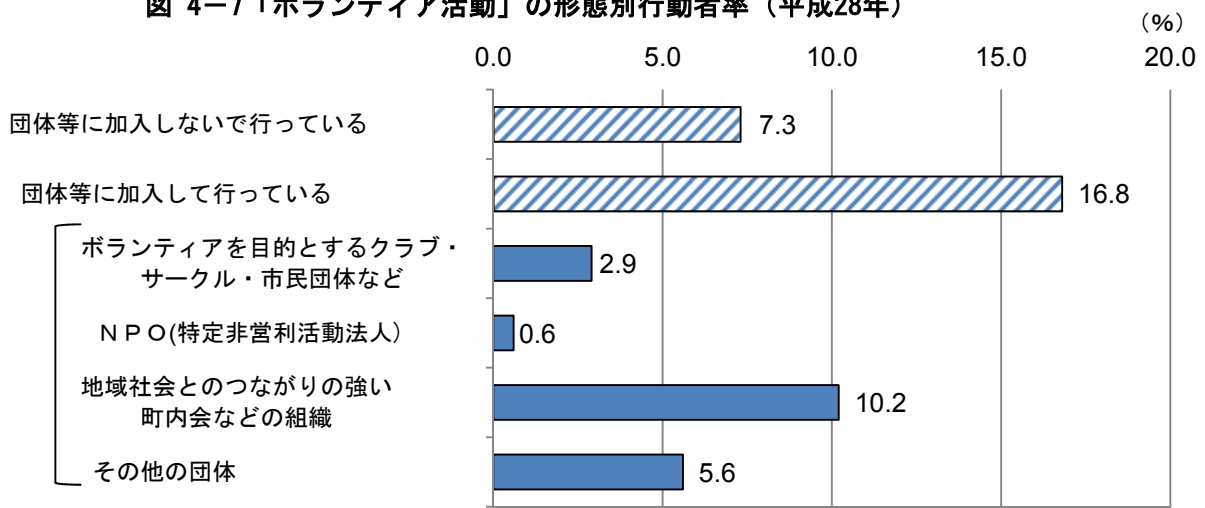
(%) 図4-6 「災害に関係した活動」の年齢階級別行動者率（平成23年、28年）



「地域社会とのつながりの強い町内会などの組織」に加入する活動が最も高い

「ボランティア活動」の形態別に行動者率をみると、「団体等に参加して行っている」が「加入しないで行っている」よりも高くなっている。「団体等に参加して行っている」のうち、「地域社会とのつながりの強い町内会などの組織」に参加して活動を行う行動者率が最も高い。

図4-7 「ボランティア活動」の形態別行動者率（平成28年）

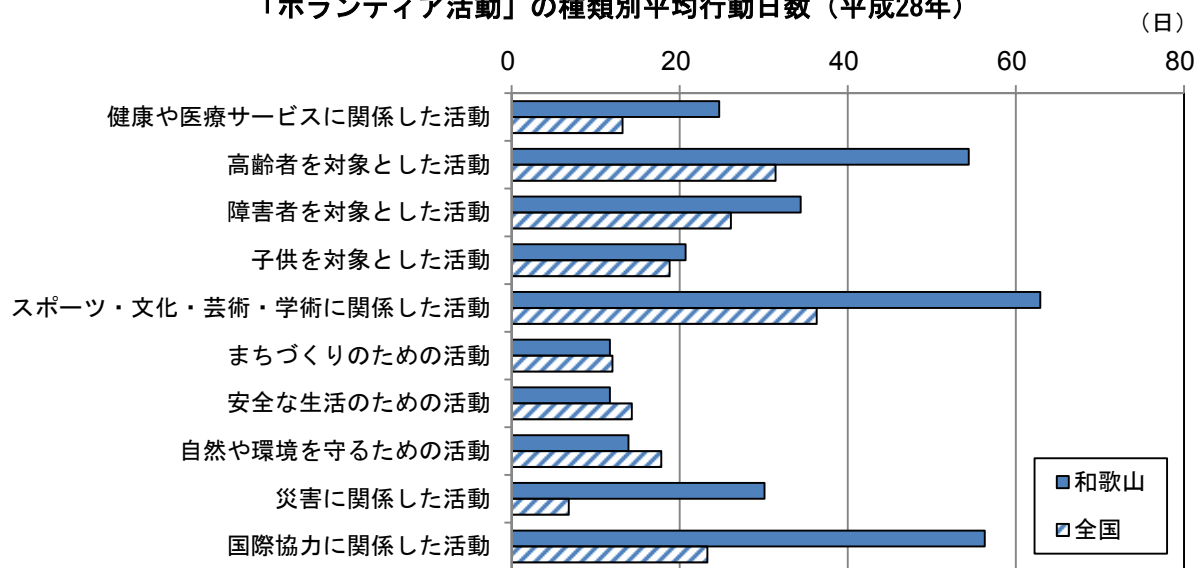


「高齢者を対象とした活動」及び「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」、「災害に関係した活動」の平均行動日数は全国1位

行動者率は全国と比べて高くはないが、それぞれの活動の平均行動日数をみると、「まちづくりのための活動」、「安全な生活のための活動」、「自然や環境を守るための活動」の3種類を除き、平均行動日数が多くなっている。

特に、「高齢者を対象とした活動」は54.4日、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」は62.9日、「災害に関係した活動」は30.1日と、いずれも平均行動日数が全国1位となっている。

「ボランティア活動」の種類別平均行動日数（平成28年）



5 旅行・行楽

行動者率は67.4%で、10～14歳で12.2ポイント上昇

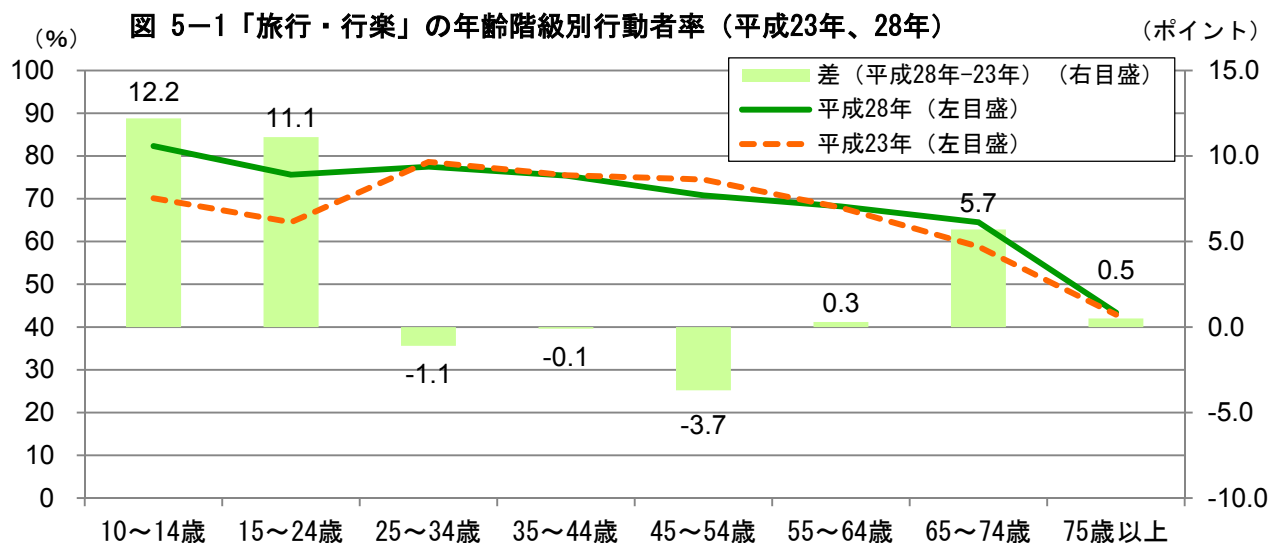
行動者数は57万4千人で、行動者率は67.4%となり、平成23年より1.4ポイント上昇している。

男女別にみると、行動者率は男性が65.2%、女性が69.3%で、いずれも平成23年より1.4ポイント上昇した。また、女性が男性より4.1ポイント高くなっている。

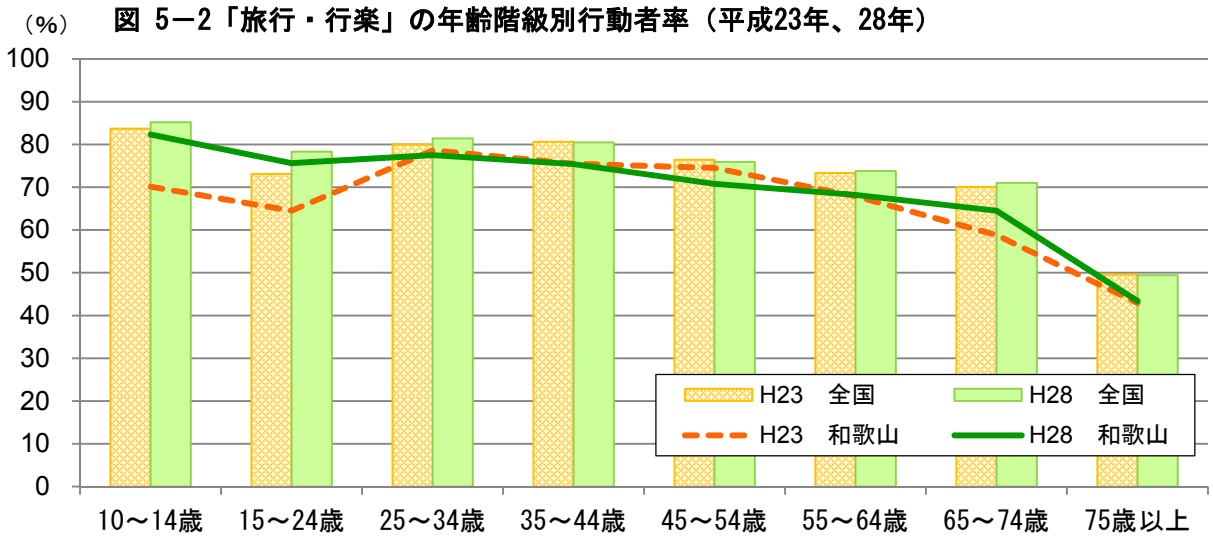
年齢階級別にみると、10～24歳の若年層で特に上昇し、10～14歳では12.2ポイント上昇した。

表5-1「旅行・行楽」の行動状況

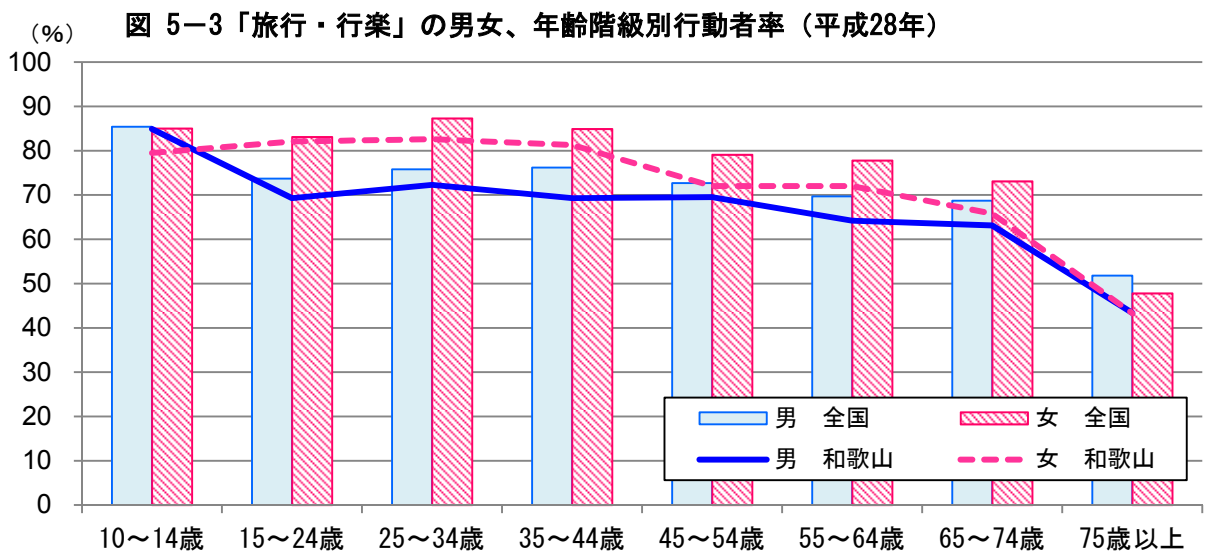
	行動者数（千人）			行動者率（%）		
	H28	H23	増減	H28	H23	増減
総数	574	587	-13	67.4	66.0	1.4
男	262	267	-5	65.2	63.8	1.4
女	312	320	-8	69.3	67.9	1.4



全国と比べると、10～24歳の年齢階級では全国平均と同程度まで行動者率が上昇したが、55歳以上では、全国よりも低く、差が大きい。



男女別にみると、和歌山県では10～14歳の年齢階級を除くすべての年齢階級で男性より女性の方が高くなっている。また、和歌山も全国も、女性の25～34歳が最も行動者率が高く、年齢が上がるにつれ低下している。



「行楽（日帰り）」が最も高く、頻度は「年に10回以上」が最も多い。

種類別にみると、「行楽（日帰り）」が最も高く、55.3%となり、平成23年より1.3ポイント上昇した。また、「観光旅行（海外）」を除き、行動者率は上昇した。

男女別にみると、いずれの行動の種類も女性の方が高く、「行楽（日帰り）」では5.3ポイントの差がある。

行動の種類別に行動者の頻度別構成比をみると、「行楽（日帰り）」は「年に10回以上」が最も多く、その他の行動は「年に1回」が最も多い。

図 5-4 「旅行・行楽」の種類別行動者率（平成23年、28年）

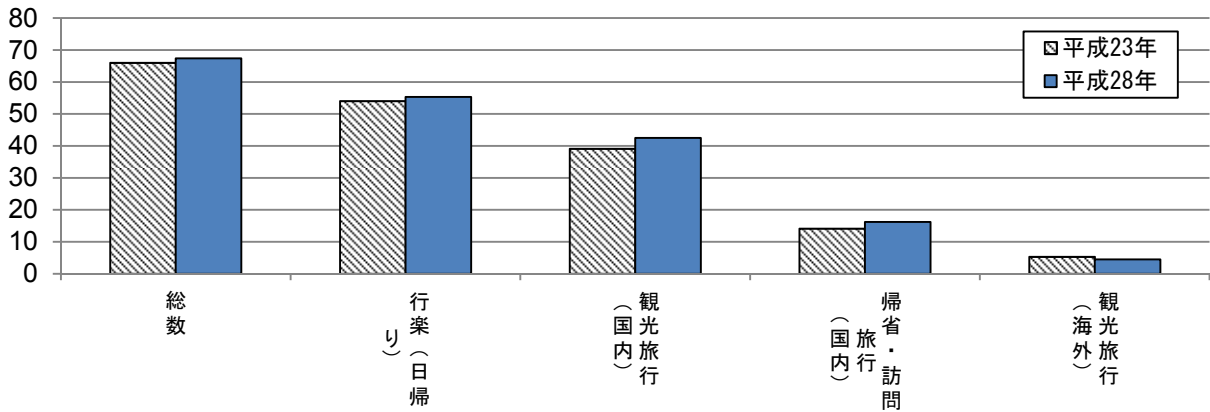


図 5-5 「旅行・行楽」の種類別行動者率（平成23年、28年）

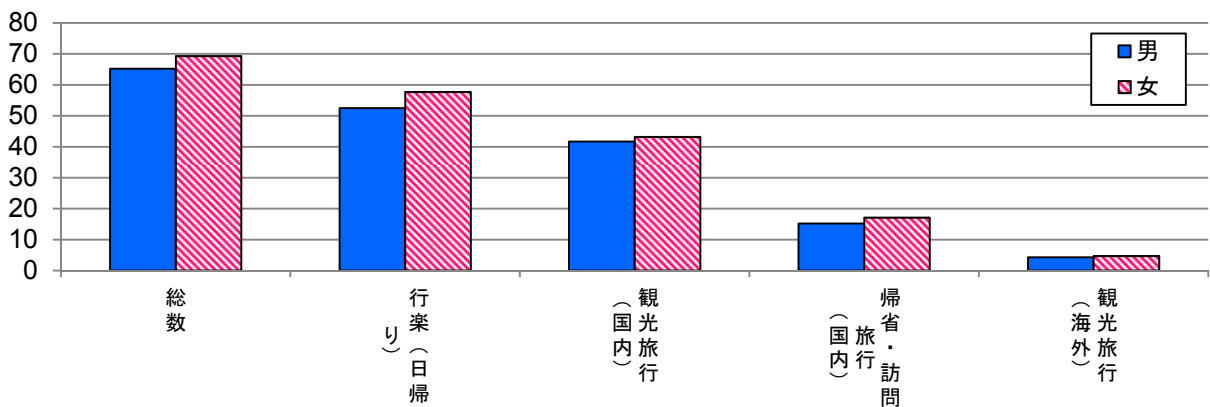
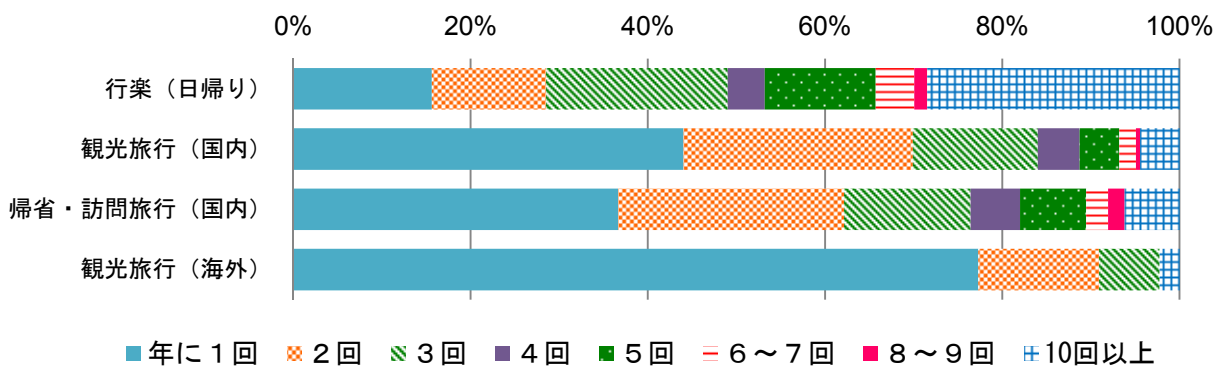


図 5-6 「旅行・行楽」の種類・頻度別行動者構成比（平成28年）



6 全国との比較

表 6-1 生活行動の行動者率の全国との比較

学習・自己啓発・訓練			スポーツ			趣味・娯楽			ボランティア			旅行・行楽		
順位	都道府県名	(%)	順位	都道府県名	(%)	順位	都道府県名	(%)	順位	都道府県名	(%)	順位	都道府県名	(%)
1	東京都	46.2	1	東京都	75.7	1	千葉県	90.6	1	滋賀県	33.9	1	東京都	78.5
2	神奈川県	43.9	2	埼玉県	72.6	2	東京都	90.1	2	岐阜県	33.4	1	愛知県	78.5
3	千葉県	41.1	3	神奈川県	72.4	2	神奈川県	90.1	3	島根県	33.1	3	神奈川県	78.0
3	京都府	41.1	4	千葉県	71.6	4	埼玉県	89.3	4	熊本県	32.7	4	埼玉県	77.9
5	滋賀県	39.9	4	滋賀県	71.6	5	愛知県	88.8	5	佐賀県	32.6	5	滋賀県	77.6
6	埼玉県	39.0	6	愛知県	71.2	6	滋賀県	88.5	5	鹿児島県	32.6	6	千葉県	77.4
7	兵庫県	38.9	7	京都府	70.1	7	京都府	88.3	7	富山県	32.4	7	富山県	76.1
8	奈良県	38.7	8	兵庫県	69.5	8	石川県	88.0	8	長野県	32.3	8	奈良県	75.6
9	大阪府	37.7	8	奈良県	69.5	9	茨城県	87.5	9	福井県	32.2	9	三重県	75.2
10	岡山県	37.0	10	栃木県	69.3	10	兵庫県	87.2	9	鳥取県	32.2	10	群馬県	75.0
	全国	36.9	11	石川県	69.1	11	広島県	87.1	11	山形県	32.1	10	岐阜県	75.0
11	宮城県	36.7		全国	68.8		全国	87.0	12	石川県	31.6	12	山梨県	74.2
12	福岡県	36.6	12	茨城県	68.5	12	富山県	87.0	13	岡山県	30.8	13	宮城県	74.1
13	愛知県	36.3	13	山梨県	68.2	12	岡山県	87.0	14	岩手県	30.2	14	石川県	73.9
14	山梨県	35.2	13	静岡県	68.2	14	奈良県	86.9	15	大分県	29.8	14	兵庫県	73.9
15	長野県	35.1	13	鹿児島県	68.2	15	宮城県	86.7	16	山梨県	29.7	16	福井県	73.6
16	三重県	34.9	16	群馬県	68.1	16	静岡県	86.6	17	静岡県	29.4	16	福岡県	73.6
17	富山県	34.3	16	長野県	68.1	16	三重県	86.6	18	宮崎県	29.1		全国	73.5
17	福井県	34.3	18	富山県	67.9	16	大阪府	86.6	19	三重県	29.0	18	長野県	73.5
17	広島県	34.3	18	沖縄県	67.9	19	群馬県	86.3	20	群馬県	28.3	18	静岡県	73.5
20	茨城県	34.2	20	岐阜県	67.4	19	福岡県	86.3	21	香川県	28.2	20	茨城県	73.4
21	石川県	34.1	21	大分県	67.2	21	長野県	85.6	22	福島県	28.1	21	岡山県	73.3
21	香川県	34.1	22	三重県	66.9	22	福井県	85.4	22	福岡県	28.1	22	京都府	73.1
23	群馬県	33.9	22	大阪府	66.9	22	岐阜県	85.4	24	山口県	27.8	23	新潟県	72.7
24	沖縄県	33.8	24	岡山県	66.8	24	北海道	85.2	25	長崎県	27.7	24	山形県	72.5
25	岐阜県	33.7	24	愛媛県	66.8	24	香川県	85.2	26	愛媛県	27.5	25	栃木県	72.4
25	佐賀県	33.7	26	熊本県	66.7	26	山梨県	84.9	27	秋田県	27.2	26	大阪府	71.4
27	静岡県	33.3	27	広島県	66.5	27	大分県	84.5	28	奈良県	26.8	27	福島県	70.3
28	和歌山県	33.0	28	宮城県	66.4	28	山口県	84.3	29	宮城県	26.7	28	広島県	70.1
29	愛媛県	32.6	29	香川県	66.0	29	栃木県	84.2	30	茨城県	26.2	28	大分県	70.1
30	栃木県	32.5	30	山口県	65.8	30	岩手県	84.0	30	栃木県	26.2	30	北海道	69.1
31	大分県	32.2	30	福岡県	65.8	30	山形県	84.0	30	徳島県	26.2	31	鳥取県	68.7
32	熊本県	32.1	32	徳島県	65.4	30	島根県	84.0		全国	26.0	31	山口県	68.7
33	徳島県	31.8	33	鳥取県	65.2	33	沖縄県	83.9	33	兵庫県	26.0	33	秋田県	68.5
34	山口県	31.5	34	福井県	65.0	34	愛媛県	83.6	34	広島県	25.6	33	佐賀県	68.5
35	鳥取県	31.3	35	北海道	64.9	35	鹿児島県	83.5	35	神奈川県	25.5	35	愛媛県	67.8
35	島根県	31.3	36	長崎県	64.5	36	福島県	83.4	36	千葉県	25.2	36	島根県	67.6
37	北海道	31.0	36	宮崎県	64.5	36	和歌山県	83.4	37	沖縄県	25.1	37	香川県	67.5
38	山形県	30.8	38	和歌山県	63.6	38	新潟県	83.3	38	愛知県	24.6	38	和歌山県	67.4
39	長崎県	30.0	39	島根県	63.5	39	鳥取県	83.1	38	京都府	24.6	39	徳島県	66.8
40	鹿児島県	29.2	40	佐賀県	63.4	39	佐賀県	83.1	40	新潟県	24.5	39	鹿児島県	66.8
41	宮崎県	29.1	41	福島県	63.1	41	長崎県	83.0	41	埼玉県	24.2	41	熊本県	66.6
42	岩手県	29.0	42	高知県	62.7	42	熊本県	82.3	41	和歌山県	24.2	42	宮崎県	65.9
42	新潟県	29.0	43	新潟県	62.6	43	徳島県	82.1	43	北海道	22.6	43	岩手県	65.7
44	福島県	28.9	44	山形県	61.6	44	宮崎県	81.0	43	高知県	22.6	44	長崎県	62.2
45	高知県	27.7	45	岩手県	60.6	45	青森県	80.7	45	青森県	22.4	45	高知県	60.8
46	秋田県	27.4	45	秋田県	60.6	46	高知県	80.5	46	東京都	21.6	46	青森県	59.4
47	青森県	24.8	47	青森県	56.0	47	秋田県	80.3	47	大阪府	20.6	47	沖縄県	52.4

<H23>	36	和歌山県	29.7	43	和歌山県	56.9	29	和歌山県	82.0	38	和歌山県	24.2	40	和歌山県	66.0
		全国	35.2		全国	63.0		全国	84.8		全国	26.3		全国	73.2

<H18>	40	和歌山県	28.0	41	和歌山県	59.3	32	和歌山県	81.4	33	和歌山県	25.2	39	和歌山県	69.8
		全国	35.2		全国	65.3		全国	84.9		全国	26.2		全国	76.2